

聖日（日曜）礼拝へのご案内

新しさはすぐに古くなる

月日は、あっという間に過ぎていきます。
何かに新しさを感じ喜んで、その新しさはすぐに古びてしまいます。
聖書は、「空の空。全ては空。・・・一つの時代は去り、次の時代が来る。
しかし地はいつまでも変わらない。
日は上り、日は沈み、またもとの上るところに帰って行く。」
（伝道者の書 1 章 1～5）と語っています。
何か時間（月日）が円を描くように、循環しているように感じます。
そして、そこから人は（あなたも私も）去って行くのです。

新しさは終わりにある

しかし、聖書は全く別の新しさ、古びて行かない新しさについて語っています。
しかも、その新しさを私たちと結びつけ、現在（今）の新しさを語っています。
聖書の詩篇（96-1-13）では「新しい歌を主に歌え、全地よ主に歌え・・・確かに主は来られる。
確かに地をさばくために来られる」とあります。
この詩人は時間（月日）を初めがあり、終わりがあるものと考えています。
つまり時間（月日）は神の創造に始まり、直線的に終わりに向かって進んでいるのです。
だから、この「新しい歌」とは終末において、世界が主なる神によってさばかれた後、新しく
更新されることを信じて喜んで歌う歌であると言えます。
とすると、全てが古びてよいのです。
古びない新しい世界が出現させられるからです。
何もかもが古びていきますが、その只中で、この詩人のように、私たちも週の初めの日に、主
なる神のみ前に出て、新しい歌を歌います。
是非私たちの 聖日（日曜）礼拝にご参加下さい。

聖日礼拝 毎週日曜日 午前10時30分より